特集 彦根城と桜

桜は日本を代表する花木です。古くは「古事記」「日本書紀」にも桜についての記述があり、「万葉集」にも桜を詠んだ歌があります。

特に平安時代後期以降は、「花」といえば桜のことを指すようになり、日本でも最も愛されている花といえるでしょう。

咲いた花を直接愛でるだけではなく、絵や写真など芸術作品の題材にも好んで用いられ、私たちの目を楽しませてくれます。

彦根城の桜も四季折々に市民や観光客を楽しませています。満開の桜は彦根城に春の到来を告げ、天守や各櫓、堀と一体になって美しい城跡景観を醸し出しています。

冬の寒さの厳しかった今年は、特に春の訪れが待ち遠しいですね。実際の開花より一足早く、紙上で彦根城の桜について紹介します。

天秤櫓から満開の桜を見る